

岡山県戦没者秋季慰霊祭

〜終戦80年・臨時奉幣祭〜

秋季慰霊祭は、去る10月5日、県護國神社で県戦没者顕彰会主催で執り行われました。当日は祭主の遠藤康洋県議会議長をはじめ、伊原木隆太県知事や大森雅夫岡山市長ら来賓並びに県下各地の遺族など約四百人の参列者が、戦没者の御霊の平安と恒久平和の実現を祈りました。



(秋季慰霊祭での三宅理事長の挨拶)

翌日には、終戦80年にあたり、天皇陛下から賜った幣帛料を神前に奉獻する臨時奉幣祭が、護國神社の秋季慰霊大祭と併せて斎行されました。本連盟の江本公一青年部長及び松本好厚同副部長がご幣物奉昇奉仕

者(写真)を務め、河野宮司が幣帛料を捧持して神前に恭しく奉奠されました。



岡山陸軍墓地で慰霊祭

〜恒例の春の彼岸祭開催〜

岡山市北区津高にある岡山陸軍墓地は、岡山市に明治40年に開設された第17師団が設置したもので、約一万六千㎡の敷地に満州事変から日中戦争初期の戦没者517柱の墓碑が鎮まっています。

毎年、春と秋のお彼岸には、岡山県戦没者顕彰会が主催者となつて、慰霊祭が行われていきます。この3月19日には、岡山縣護國神社宮司のご奉仕のもと、地元津高遺族会の会員など関係者20人弱が参列して、ご英霊の

御霊の平安をお祈りしました。



英霊碑での語り部活動

〜倉敷市立庄小学校〜

倉敷市庄地区遺族会は、倉敷市戦没者追悼式の後、地元庄小学校にある英霊碑にお参りして、今年も同校生徒にも参加を呼びかけました。



校長先生が快く承諾してくれて、10月7日に6年生150人と遺族10人が一緒に慰霊祭を執り行つた。同地区の飯田龍彦会長が、歴史や戦没者の語り部活動について説明した。行つた。

遺族会の動き

- 5日 県戦没者春季慰霊祭 (県護國神社)
- 6日 県護國神社春季慰霊大祭 (県護國神社)
- 26〜27日 県連盟合同研修会 (高知県方面)
- 【令和8年6月】
- 23日 沖繩平和祈願慰霊大行進
- 29日 日遺平和の語り部大会 (九段会館テラス)
- 30日 全国戦没者遺族代表者会議 (東京)
- 【令和8年7月】
- 16〜17日 県連盟遺族慰霊研修会 (靖國神社・千鳥ヶ淵戦没者墓苑)
- 【令和8年8月】
- 15日 全国戦没者追悼式 (日本武道館)

【編集後記】(慰霊碑調査お礼)

昨年10月に各遺族連合会において、願った慰霊碑調査については、県内五百基分をとりまとめることができ、関係各位に厚くお礼申し上げます。

調査結果は、日本遺族会が2月中に全国のものを取りまとめ、厚生労働省へ提出し、同省がそれをもとに各自自治体の意識調査等を実施することとなつております。持続的な慰霊碑管理に向けて、今後具体的な動き等あれば、お知らせさせていただきます。(増本)